

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 1回線送電線のため
 #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
10	西岡線	66	2	296	157	熱容量	124	124	可	100	
11	西岡線	66	2	296	157	熱容量	123	123	可	100	
12	西岡線	66	2	194	110	熱容量	68	68	可	84	
13	藻岩地中線	66	2	202	114	熱容量	65	65	可	88	
14	藻岩地中線	66	2	143	79	熱容量	21	21	可	64	
16	藤野線	66	2	114	57	熱容量	6	6	可	57	
17	藤野線	66	2	114	57	熱容量	0	0	可	57	
18	藤野線	66	2	114	57	熱容量	4	0	可	57	
19	藤野線	66	2	114	57	熱容量	3	0	可	57	
21	豊平線	66	2	114	57	熱容量	0	0	可	57	
22	錦橋線	66	2	26	13	熱容量	7	0	可	13	
24	小樽内線	22	1	—	—	熱容量	3	0	—	—	◇
26	他社地中支線	66	2	—	—	熱容量	28	28	—	—	◇
27	西岡地中支線	66	2	158	91	熱容量	98	98	可	67	
29	真駒内地中線	66	2	120	68	熱容量	73	68	可	52	
31	他社地中線	66	2	—	—	熱容量	28	28	—	—	◇
32	澄川支線	66	2	80	40	熱容量	49	49	可	40	
34	藻岩発電所地中線	66	1	—	—	熱容量	8	8	—	—	◇
35	川沿地中支線	66	2	115	65	熱容量	74	6	可	50	
37	砥山支線	66	1	23	23	熱容量	12	0	不可 #1	—	※1
40	他社地中線	66	1	—	—	熱容量	26	26	—	—	◇
50	月寒線	66	2	196	101	熱容量	125	125	可	95	
52	豊平地中線	66	2	125	74	熱容量	85	85	可	51	
53	豊平地中線	66	2	125	74	熱容量	85	85	可	51	
54	豊平地中線	66	2	125	74	熱容量	85	85	可	51	
55	豊平地中線	66	2	141	80	熱容量	80	80	可	61	
56	他社地中支線	66	1	—	—	熱容量	43	43	—	—	◇
57	他社地中支線	66	2	—	—	熱容量	43	43	—	—	◇
58	東美園地中支線	66	2	125	74	熱容量	85	85	可	51	
60	他社地中線	66	1	—	—	熱容量	44	44	—	—	◇
70	千歳線	66	2	217	131	熱容量	168	168	可	86	
71	千歳線	66	2	268	134	熱容量	155	155	可	100	
72	千歳線	66	2	268	134	熱容量	142	142	可	100	
74	北広島特高配電線	33	1	19	19	熱容量	19	19	不可 #1	—	※1
76	千歳線	66	2	93	51	熱容量	66	66	可	42	
78	美しが丘地中支線	66	2	137	68	熱容量	80	80	可	69	
79	美しが丘地中支線	66	2	137	68	熱容量	80	80	可	69	
90	新札幌地中線	66	2	113	64	熱容量	95	95	可	49	
92	新札幌地中線	66	2	72	49	熱容量	64	64	可	23	
94	他社地中線	66	2	—	—	熱容量	8	8	—	—	◇
95	他社地中線	66	2	—	—	熱容量	8	8	—	—	◇
96	他社地中支線	66	1	—	—	熱容量	3	3	—	—	◇

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
1	南札幌変電所	187	66	3	600	389	熱容量	463	463	可	100	※2
		66	6.6	2	35	15	熱容量	15	15	不可 #3	—	
15	藻岩変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	
20	藤野変電所	66	6.6	1	15	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	※1
23	錦橋変電所	66	22	1	—	—	熱容量	6	0	—	—	◇
		66	6.6	2	12	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
28	西岡変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	
30	真駒内変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	
33	澄川変電所	66	6.6	3	30	20	熱容量	10	10	不可 #3	—	※2
36	川沿変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	15	6	不可 #3	—	
38	砥山発電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	
51	月寒変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	
59	東美園変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	
73	大曲変電所	66	33	1	15	15	熱容量	17	17	不可 #2	—	※1
		66	6.6	3	40	20	熱容量	6	6	不可 #3	—	※2
75	北進配電塔	33	6.6	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #3	—	※1
77	平岡変電所	66	6.6	3	55	35	熱容量	15	15	不可 #3	—	※2
80	美しが丘変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	
91	大谷地変電所	66	6.6	3	60	40	熱容量	20	20	不可 #3	—	※2
93	厚別変電所	66	6.6	3	50	30	熱容量	15	15	不可 #3	—	※2